倉吉市立河北中の生徒が事務所長へ「菜の花プロジェクト」の協力依頼

平成22年9月10日（金）、倉吉市立河北中学校より生徒会長、副会長の2名が倉吉河川国道事務所長を訪問し、菜の花プロジェクトの説明、天神川河川敷への種の散布に理解を求めました。

来所した生徒は、昨年度実施された「倉吉市小・中学生淀屋サミット」において提案した「小・中学生が中心となった自然や環境を守る活動」の具体策として、今年度も市民の憩いの広場となっている天神川への菜の花の種蒔きを昨年度に引き続き行う事を報告しました。

次に、今後の取り組みを説明する中で、菜の花の種を蒔くにあたって、河北中付近の天神川を含め、市内を流れる小鴨川、国府川への散布・整備への理解・協力も依頼しました。

これに対し、倉吉河川国道事務所長は、天神川は市民の財産であり、その自然環境を次の世代を担う子ども達が守ってくれるのは大変うれしいとして最大限の協力を行うことを約束しました。